

## 学校給食の経費に関する関係法令

学校給食法	<p>(経費の負担)</p> <p><b>第十一条</b> 学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費のうち政令で定めるものは、義務教育諸学校の設置者の負担とする。</p> <p><b>2</b> 前項に規定する経費以外の学校給食に要する経費(以下「学校給食費」という。)は、学校給食を受ける児童又は生徒の学校教育法第十六条 に規定する保護者の負担とする。</p>
学校給食法施行令	<p>(設置者の負担すべき学校給食の運営に要する経費)</p> <p><b>第二条</b> 学校給食の運営に要する経費のうち、法第十一条第一項の規定に基づき義務教育諸学校の設置者が負担する経費は、次に掲げる経費とする。</p> <p>一 義務教育諸学校において学校給食に従事する職員(学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)第三十七条(同法第四十九条、第四十九条の八及び第八十二条において準用する場合を含む。)又は第六十九条の規定により義務教育諸学校に置かれる職員をいう。)に要する給与その他の人件費。ただし、市町村立の学校にあつては、市町村立学校職員給与負担法(昭和三十二年法律第百三十五号)第一条の規定により都道府県の負担とされる経費を除く。</p> <p>二 学校給食の実施に必要な施設及び設備の修繕費</p>

## 食育（食に関する指導）に関する関係法令

<p>学校給食法</p>	<p><b>第十条</b> 栄養教諭は、児童又は生徒が健全な食生活を自ら営むことができる知識及び態度を養うため、学校給食において摂取する食品と健康の保持増進との関連性についての指導、食に関して特別の配慮を必要とする児童又は生徒に対する個別的な指導その他の学校給食を活用した食に関する実践的な指導を行うものとする。この場合において、校長は、当該指導が効果的に行われるよう、学校給食と関連付けつつ当該義務教育諸学校における食に関する指導の全体的な計画を作成することその他の必要な措置を講ずるものとする。</p> <p><b>2</b> 栄養教諭が前項前段の指導を行うに当たっては、当該義務教育諸学校が所在する地域の産物を学校給食に活用することその他の創意工夫を地域の実情に応じて行い、当該地域の食文化、食に係る産業又は自然環境の恵沢に対する児童又は生徒の理解の増進を図るよう努めるものとする。</p> <p><b>3</b> 栄養教諭以外の学校給食栄養管理者は、栄養教諭に準じて、第一項前段の指導を行うよう努めるものとする。この場合においては、同項後段及び前項の規定を準用する。</p>
<p>食育基本法</p>	<p>(教育関係者等及び農林漁業者等の責務)</p> <p><b>第十一条</b> 教育並びに保育、介護その他の社会福祉、医療及び保健(以下「教育等」という。)に関する職務に従事する者並びに教育等に関する関係機関及び関係団体(以下「教育関係者等」という。)は、食に関する関心及び理解の増進に果たすべき重要な役割にかんがみ、基本理念にのっとり、あらゆる</p>

る機会とあらゆる場所を利用して、積極的に食育を推進するよう努めるとともに、他の者の行う食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。

(学校、保育所等における食育の推進)

**第二十条** 国及び地方公共団体は、学校、保育所等において魅力ある食育の推進に関する活動を効果的に促進することにより子どもの健全な食生活の実現及び健全な心身の成長が図られるよう、学校、保育所等における食育の推進のための指針の作成に関する支援、食育の指導にふさわしい教職員の設置及び指導的立場にある者の食育の推進において果たすべき役割についての意識の啓発その他の食育に関する指導体制の整備、学校、保育所等又は地域の特色を生かした学校給食等の実施、教育の一環として行われる農場等における実習、食品の調理、食品廃棄物の再生利用等様々な体験活動を通じた子どもの食に関する理解の促進、過度の痩身又は肥満の心身の健康に及ぼす影響等についての知識の啓発その他必要な施策を講ずるものとする。

(食文化の継承のための活動への支援等)

**第二十四条** 国及び地方公共団体は、伝統的な行事や作法と結びついた食文化、地域の特色ある食文化等我が国の伝統のある優れた食文化の継承を推進するため、これらに関する啓発及び知識の普及その他の必要な施策を講ずるものとする。

## 衛生管理等に関する関係法令

学校給食法	<p>(学校給食衛生管理基準)</p> <p><b>第九条</b> 文部科学大臣は、学校給食の実施に必要な施設及び設備の整備及び管理、調理の過程における衛生管理その他の学校給食の適切な衛生管理を図る上で必要な事項について維持されることが望ましい基準(以下この条において「学校給食衛生管理基準」という。)を定めるものとする。</p> <p><b>2</b> 学校給食を実施する義務教育諸学校の設置者は、学校給食衛生管理基準に照らして適切な衛生管理に努めるものとする。</p> <p><b>3</b> 義務教育諸学校の校長又は共同調理場の長は、学校給食衛生管理基準に照らし、衛生管理上適正を欠く事項があると認められた場合には、遅滞なく、その改善のために必要な措置を講じ、又は当該措置を講ずることができないときは、当該義務教育諸学校若しくは共同調理場の設置者に対し、その旨を申し出るものとする。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ※学校給食衛生管理基準(抜粋)

I 総則	<p><b>1 学校給食実施者の責務</b></p> <p>学校給食を実施する都道府県教育委員会及び市町村教育委員会(以下「教育委員会」という。)、附属学校を設置する国立大学法人並びに私立学校の設置者(以下「教育委員会等」という。)は、自らの責任において、安全な学校給食の実施のために必要な措置を講じるよう努めること。</p>
III 学校給食関係者	<p><b>1 学校給食従事者の健康管理</b></p> <p>① 教育委員会等は、以下の点に留意し、学校給食従事者の健康管理を期すこと。</p>

ア 健康診断は、年 1 回の定期健康診断を含め学期毎に年 3 回実施することが望ましい。

イ 検便は、月 2 回以上実施すること。

㊦ 学校給食調理場においては、以下の点に留意し、学校給食従事者の健康管理を期すこと。

ア 学校給食従事者の健康状態に常に注意し、毎日、個人別に記録を残すこと。また、下痢、発熱、腹痛、嘔吐をしている場合、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における一類感染症、二類感染症若しくは三類感染症の患者、疑似症患者（急性灰白髄炎、ジフテリア、腸管出血性大腸菌感染症を除く）又は無症状病原体保有者である場合、同法の規定に基づき、都道府県知事の指示に従わなければならない。また、化膿性疾患が手指にある場合には、調理作業に従事させることを禁止し、直ちに医師の精密検査を受けさせ、その指示を励行させること。

### 3 学校給食調理員

#### (1) 研修

ア 教育委員会等は、学校給食調理員の衛生意識の高揚を図るため、別紙 2「学校給食調理員の標準的研修プログラム」に掲げる内容項目を参考にして、学校給食調理員に対する衛生管理に関する研修機会を積極的に設けること。この際、パート職員も含めできるだけ全員が等しく受講できるようにすること。

## IV 献立

### 3 献立作成委員会等の設置

教育委員会等は献立作成委員会等を設け、栄養教諭等や保護者等の意見が十分尊重されるような仕組みを整えること。

## VI 食品の購入

教育委員会等又は学校給食共同調理場等においては、以下の点に留意して、食品の購入を行うこと。

その際、教育委員会等は物資選定のための委員会を設け、栄養教諭等や保護者、その他の関係者の意見が十分尊重されるとともに、必要に応じて衛生管理に関する専門家の助言・協力を受けられるような仕組みを整えること。

#### 1 食品納入業者の選定

食品の購入に当たっては、関係保健所等の協力を得て、施設の衛生面や食品の取扱いが良好で衛生上十分信用のおける業者を選定

<p>VI 衛生管理体制</p>	<p>するとともに、あらかじめ、食品納入予定業者一覧表等を作成しておくこと。</p> <p><b>2 食品納入業者等の衛生管理</b></p> <p>ア 食品納入業者又は納入業者の団体等(以下「食品納入業者等」という。)の間に連絡会を設けるなどし、学校給食の意義、役割及び食品の衛生管理の在り方について定期的に意見交換を行い、食品納入業者等の衛生管理の啓発に努めること。</p> <p>イ 売買契約に当たって、衛生管理に関する事項を取り決める等により、業者の検便、衛生環境の整備等食品納入業者等に衛生管理についての自主的な取組を促すこと。</p> <p>なお、必要に応じて、食品納入業者等の衛生管理の状況を確認すること。</p> <p><b>2 関係職員等による衛生管理体制</b></p> <p>ア 校長又は所長は、学校給食の衛生管理について常に注意を払うとともに、学校給食関係者に対し、衛生管理の徹底を図るよう注意を促し、学校給食の安全な実施に配慮すること。そのため、学校保健委員会等を活用するなどの方法により、校長、所長、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、栄養教諭、学校栄養職員、保健主事、養護教諭等の教職員、保護者、関係保健所長等の専門家などが連携した学校給食の衛生管理を徹底するための体制を整備し、その適切な運用を図ること。</p>
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------